

自民党財務金融部会長に就任報告

日頃よりご支援いただいている皆様、関係者の皆様のお支えにより、昨年10月に就任しました党外交部会長の任を務め上げることができました。この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。

この度、自民党安倍晋三総裁より新たに、党政務調査会財務金融部会長を拝命いたしましたことをご報告申し上げます。自民党の政策全般を司る政務調査会にあって、財務金融部会の所管事項は、財政、税、地域金融、Fintech(フィンテック)等、多岐にわたっております。銀行、信金、信組や各種保険、納税など皆様の仕事や生活にも密接に関わる政策範囲とも言えます。

私は、これまで、県職員、県議会議員の経験を活かし、政府においては総務副大臣兼内閣副大臣、国土交通大臣政務官、党においては、総務部会長、外交部会長などを歴任して参りました。またここで新たな活躍の場を与えられたことに大きな喜びを感じるとともに、地元宮崎県の皆様をはじめ日本国の為にしっかりと職責を果たしていきたいと思いを新たにしています。

ご承知の通りアベノミクス効果により現在の日本経済はGDPが過去最大規模に達し、史上初めて全ての都道府県で有効求人倍率が1倍を超えるなど雇用・所得環境も大きく改善しています。そして、今後の日本の経済成長の牽引役となることが期待されている一つが金融デジタルイノベーションです。従来の金融に様々な技術が加わることで、皆様の生活は格段に便利になっていきます。

新たな利便性を獲得すると同時に生活を守っていくことも大切です。本年6月に金融庁のもののワーキンググループがまとめた報告書の不適切な表現によって、誤解と不安が広がってしまったことは誠に遺憾でありました。一方で人生100年時代に向けて、国民の皆様が安定的に資産形成をしていくことの重要性が広く知られることとなったのも事実です。私は皆様が安心して老後を暮せるよう、安定的な資産形成が可能となる取組みを進めていきたいと考えています。

また、高齢化が進む中でもわが国が誇る社会保障制度が持続可能であるように、財政の健全化へ向けた取組みも進めて参ります。

引き続きのご理解ご支援を心よりお願い申し上げます。

令和元年9月24日

自民党財務金融部会長 参議院議員 松下新平